



議会だより

No.81

令和3年2月

のせ



新型コロナウイルス感染症対策
関係予算を可決
公共施設再編整備関係予算を可決

岡牧場で12月7日に生まれた仔牛

予算常任委員会報告

11月20日 開催

委員長 大西 則宏

予算常任委員会に付託された「令和2年度能勢町一般会計補正予算(第10号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は次のとおりです。

◇ 令和2年度能勢町一般会計補正予算(第10号)

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	大西 則宏
○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	委員長

注:委員長は採決に加わりません

問 新庁舎業務開始行程について説明を求める。

答 令和3年1月末竣工、同年5月初旬に移転完了予定である。

問 新庁舎移転事業の繰越明許の理由は何か。

答 令和2年度を越えた令和3年5月初旬を新庁舎移転完了予定としているため、それに伴う経費を繰越明許したものである。

※繰越明許 当該年度中に事業を終えることができない場合、翌年度に予算を繰り越すことができる制度。

問 芸術文化創造費補正における備品購入費の内容を問う。

答 浄るりシアター小ホールのもので、新庁舎分とあわせて発注することにより経費節減できるため、当初予算ではなく補正予算として計上したものである。

問 新庁舎に係る新型コロナウイルス感染症対策の整備状況はどうか。

答 窓口カウンターにアクリル板等を設置し、換気設備も整備している。

問 新庁舎・新消防庁舎関係補正予算については、当初予算で確定するのが本来であり、補正計上は軽微なものにすべきではないのか。また、これ以上の補正はあるのか。

答 本予算については、実際の必要経費が確定したため補正したものである。当初予算に概ね計上しているが、起債等有利な制度を使えることが確定した時点で補正予算として計上している。また、施設については約8割完成のため、今後の大きな補正は考えていない。

12月15日 開催

予算常任委員会に付託された「令和2年度能勢町一般会計補正予算(第11号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

問 地方バス路線維持費補助金について内容を問う。また、バス運行減便についての住民周知はどうするのか。

答 現行運行を維持するための、今年度分(令和3年1月から3月)補助金である。運行減便はバス事業者からの提示であるが、来年度以降については、国交付金の活用も含めた公共交通のあり方を、能勢町地域公共交通会議で議論いただいている。減便については、広報誌・ホームページで周知していく。

問 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金は、どのような事業に対応しているのか。

答 のせ保育所においては、検温モニターを購入する。民間2施設においては、人件費も含め感染防止対策全般に対応している。

問 ふるさと応援寄附金の補正内容について説明を求める。また、返礼品欠品の対応はどうか。

答 能勢町観光物産センターでのイベント動画配信等、能勢町紹介に関する新たな取組みの効果により寄附金の増が見込めるため、補正予算を計上した。返礼品については、事業者登録の際、生産力に応じて数量を確保しているが、欠品がないよう努めたい。また、本制度の認知度を考慮し、クラウドファンディングについても考えていきたい。

続いて、「令和2年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)」、「令和2年度能勢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)」、「令和2年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第3号)」、「令和2年度能勢町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)」の予算内容を審議し、いずれも採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

令和2年能勢町議会10月会議報告

10月27日 開催

10月会議には、令和2年10月18日執行の能勢町議会議員補欠選挙当選議員について、議席の指定、各委員会委員の選任を行いました。

太田祐介議員を総務民生常任委員会委員、予算常任委員会委員、決算常任委員会委員、広報特別委員会委員、議会改革特別委員会委員に選任しました。

令和2年能勢町議会11月会議報告

11月9日 開催

11月会議には、人事案件2件、契約案件1件が提出され、人事案件2件は全員賛成で可決されました。契約案件の賛否の結果は下の表のとおりです。

◇公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて 前田 豊 實 氏

◇固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 中 西 富美子 氏

◇請負契約の締結について(さとおか防災コミュニティセンター新築工事)

契約の方法:一般競争入札

契約金額:135,300,000円

契約の相手方:株式会社 奥建設

賛 否											原案可決
西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議 長

注:議長は採決に加わりません

令和2年能勢町議会第2回11月会議報告

11月20日,24日 開催

第2回11月会議には、条例3件、補正予算1件、人事案件2件が提出されました。賛否が分かれた案件は3件で、その他の案件は全員賛成により可決されました。

◇議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告により国家公務員の期末手当が年間0.05月分引き下げられたことに準じ改正を行うもの。

◇特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告により国家公務員の期末手当が年間0.05月分引き下げられたことに準じ改正を行うもの。

◇一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告に準じ、期末手当を年間0.05月分引き下げるための必要な改正を行うもの。

賛 否											原案可決
西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議 長

注:議長は採決に加わりません

◇令和2年度能勢町一般会計補正予算(第10号)

補正額 2億2,038万円

(主なもの)

・庁舎移転に伴う施設整備費、備品購入費等	6,125万円
・新庁舎関係施設整備費用	4,000万円
・新消防庁舎関係施設整備費、備品購入費	3,655万円

賛 否											原案可決
西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議 長

注:議長は採決に加わりません

【反対討論】奥 久明

今回の補正予算は主に新庁舎と新消防庁舎に対してのもので、借金として公共施設等適正管理推進事業債3600万円、防災拠点施設整備事業債2750万円を追加し、また貯金である財政調整基金1億3000万円を取り崩している。特に大きな金額の事業については、当初予算での計上が原則であり、本町では過去の令和元年11月会議の15億4800万円の補正のように補正金額が大きいと考える。公共施設再編整備事業に関して、当初から変更も多く補正が多い中、費用が増加し住民に過度な負担を招く恐れがあると考えられる。よって本補正予算に反対する。

【賛成討論】平田 要

今回の補正予算は、主に公共施設再編整備に係るものとなっている。先の予算常任委員会の答弁にもあったように、現在の事業費は、今回までの補正予算を含めて当初の概算事業費を下回っている。また、新庁舎、消防庁舎については、既に工事が80%進んでいるところである。今回の補正予算を組む中で、最小限の経費で最大限の効果を出せるように理事者側に求め、工事の進捗よくを滞りなく計画どおりに進め、住民、職員の安全・安心を図るためにも、この補正予算に賛成する。

【反対討論】中植 昭彦

今回、新庁舎、新消防庁舎関係の備品購入費等が計上されている。①令和2年9月時点の財政収支見通しの見込み1億円を既に超え、未計上の施設があり、さらに超過が予想される。②工事費の町負担額は減少していると答弁があったが、減少額は総工事費の約1%であり、旧歌垣小学校工事が未計上で全体見通しは不透明である。③地方債残高は71億円に増加、町民1人当たりの額は約73万円で人口10万人未満の自治体平均は約48万円で突出している。④新型コロナウイルス感染症は第三波が拡大する中、財政状況の更なる悪化が危惧される。以上、財政状況の精査を求め反対する。

◇教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

市 村 依 子 氏

◇副町長の選任につき同意を求めることについて

東 良 勝 氏

賛 否											原案可決
西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議 長

注:議長は採決に加わりません

令和2年能勢町議会12月定例会議報告

12月10日,11日,14日,16日 開催

12月定例会議には、条例2件、補正予算5件、指定管理者の指定4件、契約案件3件の合計14件が提出されました。賛否の分かれた案件は3件で、その他の案件は全員賛成により可決されました。すべての提出案件については、能勢町ホームページ「能勢町議会」からご覧いただけます。

◇能勢町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービス(3月1日開始)を開始するため、多機能端末機を利用した印鑑登録証明書の交付方法等について必要な改正を行うもの。

賛 否											原案可決
西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議 長

注:議長は採決に加わりません

◇能勢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法施行令の一部を改正する政令並びに国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布され、個人所得課税の見直しがされたことに伴い、国民健康保険税の負担水準に関して不利益が生じないようにするため所要の改正を行うもの。

◇令和2年度能勢町一般会計補正予算(第11号)

補正額 3,919万円

(主なもの)

・ふるさと応援寄附金増額に伴う費用	374万円
・地方バス路線維持費補助金	1,700万円
・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金	100万円
・中学校教師用指導書及びデジタル教科書購入	245万円

◇令和2年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

補正額 469万円 (税制改正に伴う電算改修費等)

◇令和2年度能勢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 540万円 (税制改正に伴う電算改修費及び保険料等負担金)

◇令和2年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第3号)

補正額 418万円 (介護保険制度及び税制改正に伴う電算改修費)

◇令和2年度能勢町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

補正額 216万円 (機器修繕費及び受診者増による薬品費、検査委託料)

◇能勢町立東部デイサービスセンター指定管理者の指定について

アースサポート株式会社 (令和3年4月1日から1年間)

◇能勢町立ふれあいセンター指定管理者の指定について

社会福祉法人 能勢町社会福祉協議会 (令和3年4月1日から5年間)

◇能勢町観光物産センター指定管理者の指定について

有限会社 能勢物産センター (令和3年4月1日から5年間)

◇能勢町B&G海洋センター及び能勢町営名月グランド指定管理者の指定について

アメニティグループ (令和3年4月1日から5年間)

◇動産の買入れについて

買 入 れ 動 産:軽量ノート型端末(70台)

買 入 れ 金 額:13,066,900円(消費税込)

契約の相手方:NECネットエスアイ株式会社関西支社

◇能勢町新庁舎新築工事変更契約の締結について

変更前の契約金額:876,150,000円

変更後の契約金額:913,080,300円

変 更 増 金 額: 36,930,300円

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議 長

注:議長は採決に加わりません

◇能勢町消防庁舎新築工事変更契約の締結について

変更前の契約金額:442,750,000円

変更後の契約金額:470,060,800円

変 更 増 金 額: 27,310,800円

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	議 長

注:議長は採決に加わりません

※指定管理者制度とは

指定管理者制度は、それまで地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度である。

一

般

質

問



Q & A

町民の「声」を代表して
5人が質問



一般質問



岡本 ひとし

問 七つの基本プロジェクトを基軸とした、里山未来都市の実現に向けた取組みを問う。

答 暮らしに必要な資源を地域で自給し循環する、自律的可能なまちと考える。

問 デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進することのメリット・デメリットを問う。

答 必要なサービスが時間、場所を問わず受けられる環境が整うなど新しい動きが期待される。

問 地域公共交通会議委員の一般公募の必要性について問う。

答 法定の協議会であり、交通事情に精通している委員が好ましいという経緯から選定した。

問 一般住民の意見はどのように取り入れられる

七つの基本プロジェクトを基本とした町政運営の取組みのか問う。

（町長）

答 様々な交通事情について知見のある方に加わって頂き、アンケート調査の意見を掘り下げて議論いただく考えである。

（岡本） 代替え交通として運営されている公共交通空白地有償運送やNPO法人等の選択。太子町でのボランティアによる支援等も選択肢になるのではないか。しかし民

問 無作為に抽出された1,800人からの66

3人の回収、回収率36.8%であり、移動困難者の意見が反映されるのか疑問に思う。バス路線がない地域の移動手段をもたない人の意見が反映されるのか認識を問う。

答 一般的なアンケート調査としては、非常に高い回収率と考える。

問 定住者の増加に向けて水道加入金等が原因にあるのでは。認識を問う。

答 雇用等の個々の問題があり、水道料金が原因と理解していない。新たな枠組が求められていると認識している。

問 定住者の増加に向けて水道加入金等が原因にあるのでは。認識を問う。

答 雇用等の個々の問題があり、水道料金が原因と理解していない。新たな枠組が求められていると認識している。

問 定住者の増加に向けて水道加入金等が原因にあるのでは。認識を問う。

答 雇用等の個々の問題があり、水道料金が原因と理解していない。新たな枠組が求められていると認識している。





平田 要

一、婚活支援と結婚新生活 支援事業の創設 二、耕作放棄地解消に向けた取り組み

婚活支援と結婚新生活 支援事業の創設

「能勢町まち・ひと・しごと創生総合戦略」から未婚率の推移を問う。

25歳から39歳の未婚率の推移は2015年の国勢調査から男女とも2010年時点より上昇している。

安心して結婚生活を営む支援について問う。

今まさに子育てに奮闘されている方やこれから出産を迎える方々に安心して暮らすことができるために予算の重点化を図ってきた。就学前の児童数については転出よりも転入が多い傾向にあるが、若者世代を始め全体として人口減少傾向にある。定住していただける環境づくりに全力で取り組んでいきたい。

組んでいきたい。

市町村が実施している「結婚新生活支援事業」に国は少子化対策の一環として補助を行っている。

結婚、新生活に対する新たな経済的支援については今後の検討課題と考えている。

中山間地域の遊休圃場を活用した新たな取組みについて問う。

アサヒビール（株）からホップ栽培による新しい地元特産品の開発支援を受け、試験栽培及び特産品開発を進めている。また、耕作されていない栗山や農地を栗園として利用し経営規模拡大等、能勢栗再生プロジェクトの検討を進めている。

耕作放棄地解消に向けた取り組み

農業の起業促進の現状と今後について問う。

地域での農地集積や農作業の受委託を進め、地域の担い手組織としての起業促進に取り組んでいる。

防除資材の購入補助について、一定規模のまとまった農地を対象に実施しているが、今後、集落単位等での大規模な防除対策についても検討していく。

防除資材の購入補助について、一定規模のまとまった農地を対象に実施しているが、今後、集落単位等での大規模な防除対策についても検討していく。

一般質問



中西 顕治

一、地域福祉事業 二、教育条件の整備



地域福祉事業

新型コロナウイルス感染症の影響などで、生活相談などが増えていると聞く。町の総合相談、CSW配置事業での相談内容の傾向は。

総合相談センターには、生活費に関することや権利擁護に関する相談、福祉制度の活用に関する相談が多く、一方でCSWへの相談は、生活に係る身近な困り事等が多く寄せられる傾向である。

社会福祉協議会へ委託事業が多い中、要望書も出ている。どう対応するか。

地域福祉の関係は重要な課題が山積している。車の両輪のごとくやっていかないと町が成り行かない。十分協議していく。

教育条件の整備

今年度は無償対応であった学校給食費だが、来年度の対応は。

無償化に必要な経費、年間二千数百万、10年間2億円、20年間で4億円である。町の財政力等も勘案しながら、慎重に検討を進めている。

今年度、定数では1クラスになるところを加配教員の活用で2クラスにしたと聞く。来年度はすべての学年で複数学級にできるのか。

入学予定児童数、そして支援学級への入級予定者数、転出入の見込み数等から、今後判断するが、来年度全学年で複数学級になるかは、大変厳しい状況である。

町が1人追加で雇用することで対応できるのでは。

今の段階で町単費で1人の教員を確保することは、考えていない。





太田 祐介

獣害被害

問 鹿・猪の捕獲数は、次表のとおり。

年度	鹿	猪
H.23	152	112
H.30	300	250
R.01	362	72

捕獲頭数の推移

問 獣害被害の金額や問い合わせ頻度は、

答 能勢町農産物直販協議会へのアンケート調査によると、農産物被害金額は約3千万円で、うち鹿による被害が6割、猪による被害が2割、アライグマ、ヌートリアによる被害が2割となっている。

問 捕獲されたもののジビエへの利用について問う。

答 ジビエ対策では捕獲されたものを全て処理することができない。現状は埋却等による処理をしている。

問 近隣自治体との連携について問う。

答 京都府の丹波の協議会と連携して行っている。猪名川町ともICTの罠について情報交換をしながら対策を練っていく。



一、獣害被害 二、浄るりシアターのイベント開催

浄るりシアターのイベント開催

問 施設での新型コロナウイルス感染症対策について現状と課題を問う。

答 館内の定期的なアルコール消毒を徹底し、使用者には7箇所に設置した消毒液でこまめな消毒や室内の換気を励行している。課題として、イベント時に来館者が集中するロビーやトイレ等での感染リスクを抑えるために、現在、国のガイドラインに基づき収容率を5割に設定しているが、将来10割に戻す時期を模索している。

問 施設の利用促進に向けた誘致活動について問う。

答 学生、演劇関係、音楽関係などへのアピールを続ける。

問 施設の利用促進に向けた誘致活動について問う。

答 学生、演劇関係、音楽関係などへのアピールを続ける。

一般質問



森田 則子

地域で子どもの命を守る

問 本町の児童虐待の相談件数の推移を問う。

答 新規相談は、H29年7件、H30年13件、R元年16件で、これまでの相談件数を含めて増加傾向にある。

問 産後に育児の不安やストレスから、虐待に発展するケースも増加している。周囲の支援が必要だと考えるが、本年度から始まった産後ケアの内容と、状況について問う。

答 宿泊型、日帰り型、訪問型は、助産師かヘルパーの訪問のタイプがあり、10月までに7人の利用があった。

問 産後に育児の不安やストレスから、虐待に発展するケースも増加している。周囲の支援が必要だと考えるが、本年度から始まった産後ケアの内容と、状況について問う。

答 宿泊型、日帰り型、訪問型は、助産師かヘルパーの訪問のタイプがあり、10月までに7人の利用があった。

問 産後に育児の不安やストレスから、虐待に発展するケースも増加している。周囲の支援が必要だと考えるが、本年度から始まった産後ケアの内容と、状況について問う。

一、児童虐待防止対策 二、SDGsの取組み 三、新型コロナウイルス感染症対策

アドバイスなど切れ目のない支援を行い虐待防止に努めている。

問 7月に設立された新電力会社について進捗よく状況と将来の計画的な見通しを問う。

答 10月から公共施設の8施設で電力供給を開始し、再生可能エネルギー比率は、70%である。今後は利益を踏まえ、交通弱者支援の仕組みを一つずつ検討していく。



SDGs・脱炭素社会

問 温室効果ガスの増大で地球温暖化が進み、自然災害が多発、地球規模で危機に瀕している。

答 現在、効果ガスの削減目標を定め、地球温暖化の実行計画を策定しているところで、今年度中を目標に進める。

新型コロナウイルス感染症対策

問 感染症が急増している。基本の予防策を徹底するしかないが、その上で、図書館の本の消毒器設置や、住民一律の商品券を発行してはどうか。

答 臨時対策交付金の今後の利用方法の方針を見つけて検討する。

問 感染症が急増している。基本の予防策を徹底するしかないが、その上で、図書館の本の消毒器設置や、住民一律の商品券を発行してはどうか。

総務民生常任委員会報告

委員長 伊木 真由子

調査対象部局:総務部

交通対策について、以下の内容で調査研究を行いました。

11月 2日 開催

◇ 町内の交通手段について

移動手段を必要とする対象者、利用可能な移動手段、課題、提案について議論をしました。

公共交通空白地有償運送について、事業者への調査を行うこととしました。

12月17日 開催

◇ 公共交通空白地有償運送と今後の方向性について

公共交通空白地有償運送を行っている事業者(のせ田里伊能、ふれあい号)への聴き取りを委員会にて報告し事業者の抱えている課題、現状を共有しました。

さらに、新たな地域交通システムについて調査していくことになりました。

環境教育常任委員会報告

委員長 平田 要

調査対象部局:環境創造部

10月30日 開催

◇ 事務調査のテーマ「高度産業化農業」について

環境創造部から農業企業誘致に関する視察先「村上農園山梨北杜生産センター」の運営状況等について説明を受けました。今後は、委員会で農業企業関連の先進地視察を予定することとしました。

議会改革特別委員会報告

委員長 大西 則宏

10月 1日 開催

第8回議会改革特別委員会を開催し、「議会に係る情報公開」について、会議に関する音声データの能勢町ホームページ公開にあたり、各委員より能勢町議会基本条例、能勢町議会委員会条例、議会運営に関する申し合わせ事項などにおける整理の必要性について意見を聴取しました。次回は、今回の意見をふまえて具体的な協議を進めてまいります。

11月17日 開催

第9回議会改革特別委員会を開催し、「議会に係る情報公開」のうち、YouTube(試行版)の視聴を行い、各委員より配信に伴う技術面、要領案について意見集約をしました。速やかな音声データ配信に向け、本委員会で協議を進めます。

12月22日 開催

第10回議会改革特別委員会を開催し、「議会に係る情報公開」のうち、音声データに係る要領案等について協議を行いました。協議の結果、音声データ配信期間を会議後1年間とし、令和3年1月1日以降のすべての会議から、YouTubeを用い能勢町ホームページで公開することに決定しました。なお、広報特別委員会については、音声データ作成方法調整後の公開とします。

剣尾山は標高784mの北摂山系の主要な山であり、近畿百名山、大阪50山の一つです。修験者も修行のために登った山で、自然林が続く道中には六地藏が並び、山頂手前においては月峯寺本堂跡もあり、山岳信仰の歴史も感じ取ることができます。

写真は京都方面に向かっての冬景色で山頂からは絶景を楽しめます。ぜひ剣尾山からの展望を一度ご堪能下さい。

表紙のごとば

丑年にちなみ新年は、天王の酪農家岡牧場の牛さんに飾っていただきました。2代にわたり酪農をされ、有名牛乳の原乳になっています。牛は農耕作業や物を運ぶ時の労働力として、昔から人々を助けてくれる重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。

十二支の2番目で、芽吹きを迎えようとする丑年。過去には、人類初の宇宙飛行や、ハイブリッド車のデビュー、コンビニエンスストアチェーン1号店出店など革新的な出来事もありました。

着実な牛にあやかつて2021年は、先を急がず一步一步物事を進めていきます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年も議会だよりをよろしくお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けました。本年は皆でコロナを克服し、その中から数々のイノベーションが生まれ希望に満ちた年になることを願っています。

これからも、個人個人でできることをまず行い、協力しあつてこの危機を乗り越えるため取り組んでいきます。

広報特別委員会

委員長 奥 久明
副委員長 伊木真由子

平田 要
中植 昭彦
太田 祐介

発行／能勢町議会 発行責任者／長尾 義和 編集／広報特別委員会 発行日／令和3年2月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL(072)734-0151 FAX(072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>

能勢町議会

